

せったん

第128号 2010年7月25日

発 兵庫県保険医協会北摂・丹波支部
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階
行 TEL078-393-1801 (代) FAX 078-393-1802

北摂・丹波支部



講師の松田幸子先生

接遇研修会 (医療安全対策研修会)

接遇能力のスキルアップ



支部は5月22日に丹波市柏原公民館、6月12日に三田市総合福祉保健センターにて、毎年好評の職員接遇研修会を開催した。

講師は今年も大阪樟蔭女子大学短期大学部講師で企業研修等でも活躍されている松田幸子先生。今年も電話対応とクレーム対応を重点的に学習した。両会場合わせて、48人が参加した。

【参加者の感想から】

★接遇講座は初めてでしたが、すぐ解りやすく今後活かして行きたいです。

★楽しく研修させていただきました。常に笑顔を意識し、表現力豊かな人になれるよう努力しました。

★クレームは嫌な人が嫌なことを言うものだから思っていました。それをチャンスと思いついていくことを勉強しました。今後活かして行きたいです。

★応対をするにあたってまだまだ初心者で戸惑いが多い中、とっても参考になることがたくさんありました。表現力をもっと身につけていきたいです。

と思いました。

★「聴く」と言う字は「耳」+「目」と「心」で聴くと、昨年松田先生が言われていたことをずっと心に置いていました。これからも頑張ります。

★昨年も参加させていたのですが、忘れてしまっている事もありまた勉強になりました。クレーム対応の順番は昨年教えていただいたことを実践しています。今まで二次対応の場面になったことはありませんが、そのような場面になったら今日の研修を活かそうと思います。

★松田先生の講習を受けるのは2回目です。クレームを言われても前向きな対応が出来るようになったら良いな。松田先生の明るい感じが話を聞いていてとても楽しいのでまた受けたいです。



丹波会場は18人が参加 (5/22)



三田会場は30人が参加 (6/12)

感想文

第40回保団連夏季セミナーを受講して



セミナー会場前で(左から)支部幹事の岡本晴夫先生、福田俊明先生、武本淑子先生

7月3・4日に東京・都市センターホテルで開催された全国保険医団体連合会の第40回夏季セミナーに北摂丹波支部から3人が参加した。全国から約400人が参加し、記念講演やシンポジウム、5テーマでの分科会等が行われた。参加者の感想文を紹介する。

七月三・四日、東京・都市センターホテルで行われた保団連夏季セミナーに参加させていただきました。会場は四〜五百人の参加者だったでしょうか。国の中枢に近くきれいなホテルだった。

住江会長の挨拶の次に兵庫の小島先生の基調提案があり「誰でもが安心して医療が受けられる社会にしよう」と訴えられました。記念講演では、渡辺治氏が民主党政権と日本の行方について熱く語りられました。



九時を少しまわった後終了、岡本先生、事務局の黒木・平井さんと赤坂の居酒屋でおいしく楽しい夕食、東京の夜は更けていった。

次の日は、バイキングの朝食、分科会は「歯科医の需給問題」に参加したが、問題提起をされた保団連の南條先生は、東京の窮状を訴えておられたようだ。松本歯科大の宮沢教授は、歯科医の指導と教育について話された。

昼食の弁当を食した後、午後のシンポジウムは欠席させていただき、岡本先生とおのぼりさんよう浅草見物に出かけ、仲見世を散策、そして隅田川の船下りを楽しんだ。川風に清涼感いっぱい、また来年も行かせてもらえればうれしいです。

【三田市 福田 俊明】
裏面へつづく

【表面からつづき】
第40回保団連夏季セミナーを受講して

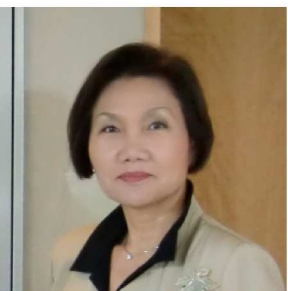


記念講演では「菅内閣の成立、民主党政権の新段階と日本の行方―新しい福祉国家の課題と

展望」というテーマで渡辺治教授の講演を聴き、小泉政権から菅内閣への政治の流れを詳しく解説いただきました。

JR、NTTが民営化になり郵便局の民営化等構造改革により日本がより良くなつていくのだと夢見ていた小泉内閣成立の頃を思い返すと、いろいろなことが有り長かったように思うがまだ10年ほどである。開国に動いた坂本龍馬の時代も、敗戦からの目覚ましい復興の時代も、無謀と思われるような構造改革が行われたお陰で、今の日本があると思う。

政治家は私欲を捨てて国民のために働く、票のためではなく本当に必要なと思ふ政策を実行するために働いていただ



二日目の分科会、講座1「社会保障の抜本的拡充と財政問題」のテーマで神戸大学発達科学部教授 二宮厚

美先生のご講演を拝聴した。

会場は全国から100名近い参加者で埋まり、医学会とは違う雰囲気熱心さが伝わって熱気に溢れていた。

保団連の活動は医療・社会保障・政治・憲法・税務・保険と幅広い分野におよんでおり、その豊富なデータの分析や解析、またそのレベルも非常に高いと日頃より感じている。

本講演も、その一環として奥深い内容であった。現在日本が抱える社会問題(格差と貧困・正規と非正規雇用) 経済問題(輸出減と内需低迷) 財政問題(税収減と膨らむ財政赤字)等を二極的に分析し、民主党政権の「強い経済・財政・社会保障」の解決策として抜本的な税制改革「垂直的所得再分配の再構築」が重要であると論じていただいた。

財政政策として所得の再



きたいし、行政改革も私利のために働く議員は落選する仕組みを作って欲しい。また株式会社は社会にとって必要とされる商品やサービスを提供するの当然であるが、利益は社長や会社・株主だけのものではなく、公共のものでもあるという自覚が必要と思う。

今回の選挙で、普天間の問題と消費税の問題が重視されているが、私は家に鍵を掛けるように自分の国は最低限自分で守る、そのための設備は必要と思うし、直接税も必要だし、それ相当の間接税も必要と思う。あまり優遇され恵まれ過ぎると勤労意欲を失うのではと思う。

二日目は「地域主権改革」は社会保障に何をもちたらずか、というテーマで岡田知弘教授の講演を聴きました。市・町・村の合併が全国的に行われ、行政サービスが末端まで行き届かなくなつていけると言う内容のようには思いましたが、私は自治会があり、区・市・圏域・県・地方・国のどれをとつても歴史があり、意味のある名前が



分配、資源や環境の見直しと景気の安定化。財源の指針として国・地方の財政バランスと責任分担、社会保障の再編や租税の在り方を論じていただいたが全体としてハイレベルな内容だったため正直なところ理解しきれない部分が多かった。

今後どんどん高齢者が増え、生産人口は減少していく中、国家予算の社会保障費が占める割合が増えるのは当然である。国民の格差や貧困問題、リーマンショック後の長期化するデフレ不況、不況による税収減や膨らむ財政赤字と財政危機の中、いかに社会保障の財源を確保するのか非常に厳しい状況下にあると思われる。

結論として歳入に関して、総合累進課税を徹底し、消費税の引き上げ策として現在のインボイス方式からヨーロッパ型の軽減税率を導入することにより、最終的に富裕者が税を負担することになると私なりに理解したが間違っているだろうか?

会場からも消費税の引き上げ、法人税や企業の内部留金の扱いについて活発な質問がでた。

【三田市 武本 淑子】

第21回支部総会

※ご欠席の先生は委任状のFAXをお願いいたします

日時 7月31日(土) 午後6時~6時30分

会場 キッピーモール 講座室

記念企画 「落語」

※どなたでもご参加いただけます!

日時 7月31日(土) 午後7時~8時

会場 キッピーモール 多目的ホール

講師 寿亭 茆町 (ことぶきてい りゅうまち) こと西松 央一 先生 (兵庫区・西松医院)

出囃子 山本 篤 先生 (三木市・山本医院) ほか

参加費 無料



付けられている。それぞれ文化がありその文化を守る生活を古代よりしてきたのだと思う。祭りをする区域、運動会をする区域、消防車や救急車が活動する区域はそれぞれ違うのだから、道州制にした上で、それぞれのサービスにより最も適した区域を設けるのが良いのでは。しかし顔の見えるコミュニティはいつまでも大切に守っていく必要があり、私自身これまで自治会活動にあまり積極的でなかったことを反省しました。

夜中はワールドカップ アルゼンチン対ドイツ、早朝はスペイン対ポルトガル戦を観戦、その後セミナーまでの間に皇居外周(約5キロ)をウォーキング。また新幹線では、辛房治郎の「日本経済の真実」でセミナーとは異なった法人税引き下げ等経済優先、小泉・竹中時代の構造改革賞賛という内容にも接し、参議院選挙真つ盛りという消費税や沖縄普天間問題で盛り上がっているタイムリーな時期で、とても熱く有意義なセミナーになりました。

【三田市 岡本 晴夫】